

入学者の受入れに関する方針【アドミッション・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成をめざします。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識と技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成をめざします。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- ◎確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- ◎知的な創造力や探究心をみたくことに意欲を持つ人
- ◎多様な考えや価値観を持つ人を認め、協働できる人
- ◎学校と地域社会の関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

（入学者選抜の基本方針）

大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦A）の他、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦B）及び一般入試（前期日程，後期日程）により入学者を選抜します。

推薦入試における大学入試センター試験を課さない推薦Aでは、教員や教育支援専門職となるにふさわしい知識、技能、適性、資質、意欲、態度を出身学校の調査書、小論文、面接、実技検査等ではかり、総合的に評価します。また、大学入試センター試験を課す推薦Bでは、大学入試センター試験の成績、出身学校の調査書、面接により総合的に評価します。

一般入試における前期日程では大学入試センター試験の成績とともに、個別学力検査（小論文（教員養成課程のみ）、教科に関する問題または総合問題または実技検査または面接）、出身学校の調査書により総合的に評価します。後期日程では、大学入試センター試験の成績とともに、面接、出身学校の調査書により総合的に評価します。

これらの選抜以外に、所定の出願資格を満たす人を対象とした帰国子女入試と外国人留学生入試があります。